

# 2011年3月期第3四半期決算

2011年1月28日

株式会社 野村総合研究所



# 連結決算ハイライト <第3四半期累計>

## ■ 前年同期との比較

(百万円)

	2010年3月期 3Q累計(4~12月)	2011年3月期 3Q累計(4~12月)	増減額	増減率
売上高	252,155	241,974	△10,180	△4.0%
営業利益	32,755	27,018	△5,736	△17.5%
営業利益率	13.0%	11.2%	△1.8P	
経常利益	33,419	28,334	△5,085	△15.2%
四半期純利益	18,649	16,241	△2,407	△12.9%

# 連結決算ハイライト <第3四半期>

## ■ 前年同期との比較

(百万円)

	2010年3月期 3Q(10~12月)	2011年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
売上高	85,272	79,868	△5,404	△6.3%
営業利益	10,664	11,008	+344	+3.2%
営業利益率	12.5%	13.8%	+1.3P	
経常利益	11,052	11,247	+194	+1.8%
四半期純利益	6,670	6,583	△86	△1.3%

# 2011年3月期第3四半期累計 連結決算のポイント

- **顧客のITコスト抑制は継続。ITソリューションの受注ペースは引続き低迷  
3Qも証券業、製造・サービス業向けは厳しく、3Q累計売上高は減収**

1. 証券業向けは、主要顧客を中心に厳しい事業環境継続
2. 製造・サービス業向けの新規プロジェクト立ち上げにも、苦戦を強いられている
3. 保険業、その他金融業向けは、既存顧客中心に堅調
4. コンサルティングの事業環境には回復の兆し

- **収益性悪化要因の解消と継続的コストコントロールで、営業利益率は回復**

1. 不採算プロジェクトによる追加コストは、3Qは発生せず
2. コンサルティングの収益性回復
3. 外注の適正化によるコストコントロール
4. 業績連動による人件費の抑制

# セグメント別外部連結売上高

## <第3四半期累計>

(百万円)

	2010年3月期 3Q累計(4~12月)	構成比	2011年3月期 3Q累計(4~12月)	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	13,495	5.4%	13,773	5.7%	+277	+2.1%
金融ITソリューション	155,445	61.6%	150,240	62.1%	△5,205	△3.3%
証券業	81,725	32.4%	74,856	30.9%	△6,868	△8.4%
保険業	39,235	15.6%	40,456	16.7%	+1,221	+3.1%
銀行業	18,848	7.5%	18,299	7.6%	△548	△2.9%
その他金融業等	15,636	6.2%	16,627	6.9%	+990	+6.3%
産業ITソリューション	67,728	26.9%	62,638	25.9%	△5,089	△7.5%
流通業	31,101	12.3%	31,270	12.9%	+168	+0.5%
製造・サービス業等	36,627	14.5%	31,368	13.0%	△5,258	△14.4%
IT基盤サービス	8,412	3.3%	8,916	3.7%	+503	+6.0%
その他	7,072	2.8%	6,405	2.6%	△666	△9.4%
合 計	252,155	100.0%	241,974	100.0%	△10,180	△4.0%
野村ホールディングス	65,604	26.0%	56,981	23.5%	△8,622	△13.1%
セブン&アイ・ホールディングス	30,929	12.3%	30,328	12.5%	△601	△1.9%

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む  
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
Copyright(C) 2011 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

# セグメント別外部連結売上高 <第3四半期>

(百万円)

	2010年3月期 3Q(10~12月)	構成比	2011年3月期 3Q(10~12月)	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	4,954	5.8%	5,265	6.6%	+311	+6.3%
金融ITソリューション	53,272	62.5%	49,048	61.4%	△4,223	△7.9%
証券業	27,796	32.6%	24,958	31.3%	△2,837	△10.2%
保険業	13,448	15.8%	13,246	16.6%	△201	△1.5%
銀行業	6,694	7.9%	5,180	6.5%	△1,513	△22.6%
その他金融業等	5,333	6.3%	5,662	7.1%	+328	+6.2%
産業ITソリューション	22,377	26.2%	20,570	25.8%	△1,806	△8.1%
流通業	10,295	12.1%	10,323	12.9%	+27	+0.3%
製造・サービス業等	12,081	14.2%	10,247	12.8%	△1,833	△15.2%
IT基盤サービス	2,677	3.1%	2,858	3.6%	+181	+6.8%
その他	1,991	2.3%	2,124	2.7%	+133	+6.7%
合 計	85,272	100.0%	79,868	100.0%	△5,404	△6.3%
野村ホールディングス	20,852	24.5%	18,384	23.0%	△2,467	△11.8%
セブン&アイ・ホールディングス	9,829	11.5%	9,774	12.2%	△55	△0.6%

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む  
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。  
Copyright(C) 2011 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

# 主なセグメント別損益

## <第3四半期累計>

■各セグメントは内部売上高を含む

(百万円)

		2010年3月期 3Q累計(4~12月)	2011年3月期 3Q累計(4~12月)	増減額	増減率
コンサルティング	売上高	13,516	13,821	+305	+2.3%
	営業利益	241	601	+359	+148.6%
	営業利益率	1.8%	4.4%	+2.6P	
金融ITソリューション	売上高	155,565	150,292	△5,272	△3.4%
	営業利益	16,311	14,098	△2,213	△13.6%
	営業利益率	10.5%	9.4%	△1.1P	
産業ITソリューション	売上高	71,267	66,041	△5,225	△7.3%
	営業利益	6,943	2,529	△4,413	△63.6%
	営業利益率	9.7%	3.8%	△5.9P	
IT基盤サービス	売上高	51,805	51,248	△556	△1.1%
	営業利益	6,761	7,532	+771	+11.4%
	営業利益率	13.1%	14.7%	+1.6P	

# 主なセグメント別損益

## <第3四半期>

■各セグメントは内部売上高を含む

(百万円)

		2010年3月期 3Q(10~12月)	2011年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
コンサルティング	売上高	4,963	5,278	+314	+6.3%
	営業利益	245	830	+585	+238.6%
	営業利益率	4.9%	15.7%	+10.8P	
金融ITソリューション	売上高	53,297	49,071	△4,226	△7.9%
	営業利益	5,518	5,099	△419	△7.6%
	営業利益率	10.4%	10.4%	+0.0P	
産業ITソリューション	売上高	23,541	21,736	△1,805	△7.7%
	営業利益	2,191	2,163	△28	△1.3%
	営業利益率	9.3%	10.0%	+0.6P	
IT基盤サービス	売上高	17,267	16,983	△283	△1.6%
	営業利益	2,240	2,464	+224	+10.0%
	営業利益率	13.0%	14.5%	+1.5P	



# サービス別連結売上高

## <第3四半期累計>

(百万円)

	2010年3月期 3Q累計(4~12月)	構成比	2011年3月期 3Q累計(4~12月)	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	21,489	8.5%	23,180	9.6%	+1,691	+7.9%
開発・製品販売	95,778	38.0%	87,729	36.3%	△8,049	△8.4%
運用サービス	124,316	49.3%	125,106	51.7%	+789	+0.6%
商品販売	10,569	4.2%	5,957	2.5%	△4,611	△43.6%
合 計	252,155	100.0%	241,974	100.0%	△10,180	△4.0%

# 連結P/Lハイライト <第3四半期累計>

(百万円)

	2010年3月期 3Q累計(4~12月)	2011年3月期 3Q累計(4~12月)	増減額	増減率
売上高	252,155	241,974	△10,180	△4.0%
売上原価	179,914	174,204	△5,709	△3.2%
外注費	82,833	75,453	△7,380	△8.9%
売上総利益	72,240	67,769	△4,470	△6.2%
売上総利益率	28.6%	28.0%	△0.6P	
販管費	39,485	40,751	+1,265	+3.2%
営業利益	32,755	27,018	△5,736	△17.5%
営業利益率	13.0%	11.2%	△1.8P	

# 連結P/Lハイライト <第3四半期累計> 続き

(百万円)

	2010年3月期 3Q累計(4~12月)	2011年3月期 3Q累計(4~12月)	増減額	増減率
<b>営業利益</b>	32,755	27,018	△5,736	△17.5%
<b>営業外損益</b>	664	1,315	+651	
受取利息	285	254	△30	
受取配当金	1,030	1,126	+96	
持分法による投資損失	△553	△17	+536	
<b>経常利益</b>	33,419	28,334	△5,085	△15.2%
<b>特別損益</b>	△861	△316	+544	
投資有価証券評価損	△1,081	△9	+1,072	
資産除去債務会計基準の適用に伴う 影響額	-	△364	△364	
<b>法人税等</b>	13,915	11,773	△2,141	
<b>四半期純利益</b>	18,649	16,241	△2,407	△12.9%

# セグメント別外部連結受注残高

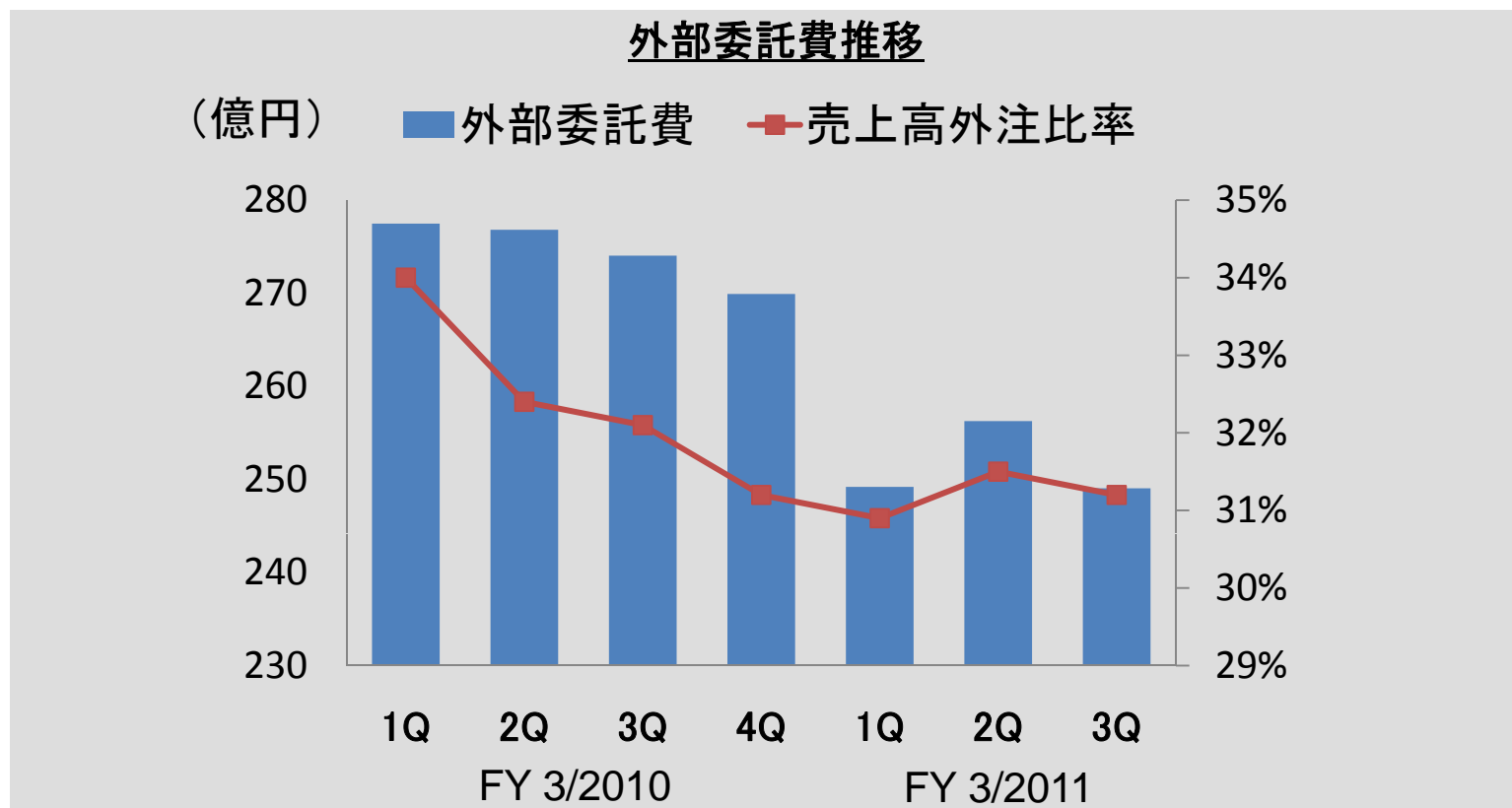
(百万円)

	2009年12月末	2010年12月末	増減額	増減率
コンサルティング	3,187	4,107	+919	+28.9%
金融ITソリューション	43,332	45,305	+1,973	+4.6%
産業ITソリューション	20,181	18,955	△1,226	△6.1%
IT基盤サービス	2,339	2,016	△322	△13.8%
その他	1,371	1,465	+94	+6.9%
合 計	70,413	71,851	+1,438	+2.0%
うち、期中分	63,584	63,401	△183	△0.3%

# コストコントロールの取り組み

## 外部委託費、人件費等の適正化

- 外注の適正化によるコストコントロール
- 業績連動による人件費の抑制
- プロジェクトマネジメントの強化により、不採算案件の発生抑制



# 3Qまでの実績と、通期の業績見通し

➤ 3Qまでの業績は、通期業績予想の範囲内で推移

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2008年3月期	売上高	774	876	846	924	3,422
	営業利益	107	166	117	134	526
	営業利益率	13.9%	19.0%	13.9%	14.6%	15.4%
2009年3月期	売上高	794	857	859	900	3,412
	営業利益	98	138	136	123	497
	営業利益率	12.4%	16.2%	15.8%	13.8%	14.6%
2010年3月期	売上高	815	853	852	864	3,386
	営業利益	99	121	106	73	400
	営業利益率	12.2%	14.2%	12.5%	8.5%	11.8%
2011年3月期 (4Q,通期は予想)	売上高	806	814	798	830	3,250
	営業利益	65	94	110	99	370
	営業利益率	8.1%	11.6%	13.8%	12.0%	11.4%

# 経営環境認識

- 日銀短観のソフトウェア投資計画に大きな変更はないものの、先延ばしの傾向続く。一方で、製造業、保険業等は通期投資計画が上方修正に

(前年同期比増減率等 %)

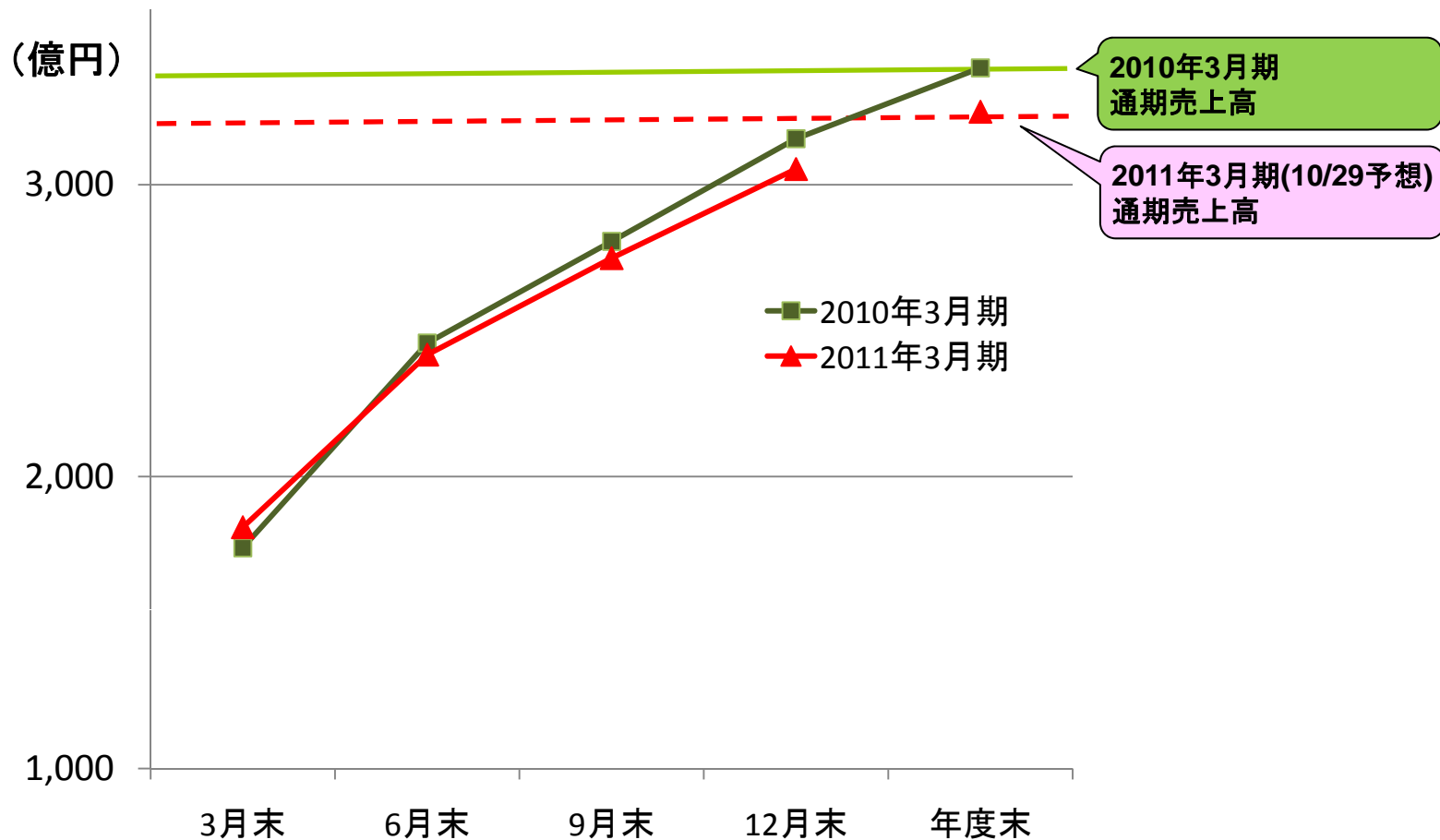
	10年計画(12月調査)			修正率(9月→12月)		
	通期	上期	下期	通期	上期	下期
金融を含む全産業	3.1	1.3	4.6	0.2	-4.0	3.9
製造業・大企業	9.0	4.1	13.7	4.6	-0.6	9.7
非製造業・大企業(除く金融)	3.1	-1.3	6.7	-1.8	-5.8	1.5
金融機関	2.2	5.4	-0.3	-0.8	-3.1	1.2
銀行業	5.2	4.8	5.5	-2.2	-7.1	1.7
信用金庫等	0.6	7.8	-4.0	14.9	15.8	14.3
金融商品取引業	-11.3	-20.2	-4.7	-8.8	-13.1	-5.9
保険業	1.4	26.5	-17.7	2.2	9.2	-5.0
貸金業等	4.5	-3.5	13.0	2.4	-6.4	12.1

(出所)日銀短観(2010年12月調査)企業に対するアンケート調査に基づく

# 売上高＋連結受注残高(うち期中分)

## ➤ 3Qの受注環境は引き続き厳しい状態が継続

受注残高(うち期中分)＋売上高累計額の推移


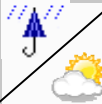




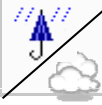




# セグメント毎の足元の状況

## ➤ 顧客のIT投資回復に備えた仕込みと営業強化

下期

コンサルティング		・3Q累計で黒字化。民間企業向けで事業環境に改善の兆し
金融ITソリューション		
証券業		・主要顧客への <b>STAR-IV導入</b> について、引き続き計画を策定中 ・共同利用型サービスでの新規顧客を獲得
保険業		・既存顧客を中心に追加案件獲得に向けた活動 ・業界再編の動きへの着実な対応
銀行業		・投信窓販システム切替え対応、 <b>新しい共同利用型サービスの開発</b> ・主要顧客のビジネス拡大(サービス強化等)への対応 等
その他金融業等		・資産運用系ASP、①新規顧客拡大、②新バージョンへ移行促進、③各ソリューション間の連携を強化し業界専用クラウドとして提供開始
産業ITソリューション		
流通業		・顧客の投資需要(海外展開、機器老朽化対応等)の獲得
製造・サービス業等		・新規顧客・新規案件の獲得努力を継続(SCMのノウハウを最大限活用) ・品質管理・プロジェクト管理強化により採算性の向上を一層すすめる

- 
- ・本資料は、2011年3月期第3四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。  
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
  - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。